

[1]

[2] A-10C 空対空交戦訓練へようこそ。

オートパイロットで高度を維持している。フライト中 230-240kts を保つようパワーを調節してくれ。

[3] A-10C はジェット戦闘機ではない。しかしドッグファイトにおいて優れた敏捷性と、自己防衛としては充分すぎるほどのパンチ力を発揮する。イボイノシシが吹く 30mm 砲の前には、如何なる捕食者も挑戦をためらうだろう。また、AIM-9 Sidewinder では広い交戦範囲をもってエアボーン・ターゲットに対抗することができる。

[4] 約 1nm 先にエアボーン・ターゲットとして 2 機の SU-25 が準備している。いま視認しやすいようにフレアを放ってくれている。Numpad* (アスタリスク) を押して HUD にズームインすればよく見えるだろう。

Numpad ENTER を押せばデフォルトのコクピット視点に戻る。

このフライトでは速度に注意を払い、230-240kts に保つことが肝要だ。でなければターゲットに置いてきぼりにされるか、オーバーランしてしまう。

[5]

[6]

[7] 左 MFCD で DSMS ページを開き、ペイロードを確認しよう。

[8] ステーション 2 に LITENING-II と、ステーション 11 に AIM-9M を 2 発積んでいる。さらに CM 弾丸も満載している。

[9] 原則として A-10 で、もつれ合いの空中戦を行うことは避けるべきだが、いつ敵機が襲いかかってくるかは分からない。また戦闘では、地上を低高度で飛び回る敵のヘリや対地攻撃機など、よい獲物が現れてくれる可能性もある。

そんな時、奴らを追跡するのに LITENING-II TGP が非常に役に立つ。

OSB-4 を押して TGP の A-A ページを開け。

[10] HOTAS クーリーハット RIGHT (ロング) コマンドもしくは K を長押しして、TGP を SOI にしろ。

[11] 左側のターゲット 2 がフレア放出をやめた。まだ放出している右側のターゲット 1 に狙いを定めよう。

HOTAS スルーコントロールもしくは「;」「,」「.」「/」を使って TGP の LOS をターゲット 1 に合わせろ。

[12] TGP ディスプレイのクロス・キューは TGP がトラックできる目標を示している。ターゲット 1 がフレア放出をやめた。

HOTAS TMS UP コマンドもしくは左 CTRL+↑を押して、ターゲット 1 の上で TGP を POINT トラックモードにしろ。

[13] HOTAS チャイナハット FORWARD (ショート) コマンドもしくは V を押して TGP をナロー・フィールド・オブ・ビュー (NFOV) にしろ。

[14] 背景に対してターゲットがくっきり見えるように、FLIR ビデオに切り替えるのが賢明だ。

HOTAS ボートスイッチ FORWARD コマンドもしくは右 ALT+→を押して、TGP を WHOT (ホワイトホット) ビデオにセットしろ。

[15] HOTAS クーリーハット UP (ショート) コマンドもしくは U を押して HUD を SOI にしろ。

[16] では HOTAS マスター・モード・ボタンもしくは M を長押しして HUD をエア・トゥ・エア・モードにしろ。

[17] HUD は現在 AIM-9M レティクルを表示している。この音は AIM-9 シーカーの捕捉状態を示している。信号の音が高いほど、シーカーの捕捉度は高い。

AIM-9 は現在、ボアサイト・モードになっている。これはシーカーがボアサイトに固定されているため、発射するにはレティクルがターゲットに重なるように機体をもっていかなければならないということだ。

HOTAS チャイナハット FORWARD (ショート) コマンドもしくは V を押して、シーカーを解放しろ。

[18] 解放されるとシーカーはボアサイト・ラインから離れて自由にスキャン・ゾーンを漂う。ボアサイト・モードでターゲットを攻撃する場合は、発射の前にシーカーを解放し、シーカーがしっかりとロックしているか確かめてみるのが良いだろう。

HOTAS チャイナハット AFT (ショート) コマンドもしくは C を押してシーカーをボアサイトに戻せ。

[19] AIM-9 シーカーは SCAN モードにもできる。これは機体前方のより大きな範囲をカバーするために、ボアサイト・ラインの周りを周回しながらスキャンを行うものだ。

[20] 準備が出来たらいつでも A を押してオートパイロットを切り、直接ターゲット 1 の背後についてシーカーでロックしろ。

[21] サイドワインダーの発射は 2nm 以内で行うのがベストだ。ターゲット 1 をしっかりとロックしていることを確かめたら、ウェポン・リリース・ボタンを押して発射しろ！

[22] フォックス 2！

[23] 撃墜！

水平飛行。

[24] まだ AIM-9 は残っているが、もう一度 HOTAS チャイナハット AFT (ショート) コマンドもしくは C を押してミサイルを無効にし、ガン・インジケーションを見よう。

[25] それから TGP もボアサイトに戻し、ターゲット 2 の追跡を開始しろ。現在、視認のためにもう一度フレアを放っている。

[26] HOTAS チャイナハット AFT (ショート) コマンドもしくは C を押して TGP をボアサイトにしろ。

[27] HOTAS チャイナハット FORWARD (ショート) コマンドもしくは V を押して TGP をワイド FOV (WFOV) に戻せ。

[28] TGP をターゲットに合わせ、HOTAS TMS UP (ショート) コマンドか左 CTRL+ ↑ を押して POINT トラックモードを入れる。

[29]

[30] 機銃を発射するにはもう少しターゲット2に近づく必要がある。パワーを上げて距離を詰める。だがターゲットをオーバーランしないよう気をつけろ。

[31] ファンネル・ガン射撃のできる距離に近づいた。高度と速度を合わせ、230-240ktsに保て。

[32] HOTAS クーリーハットUP (ショート) コマンドもしくはUを押して、HUDをSOIにしろ。

[33] ファンネル・ガンサイトを使うには、プリセットされた10のターゲット・プロファイルから1つをセレクトしなければならない。ターゲットであるSu-25のプロファイルをセレクトするには、HOTAS DMS RIGHT コマンドもしくはPAGE-DOWNを4回押せ。HUDのウェポン・プロファイル部分にプロファイル名がサイクルするのを見てみる。

[34] ファンネル・ガンサイトを使って狙いを定めるには、ターゲットと自機の動きを合わせ、ターゲットの両翼端がちょうどファンネルの縁に触れるように、ターゲットをファンネルの内側に入れろ。この位置はどんな距離においても発射ソリューションとなるように、選択したプロファイルにセットされている翼幅をもとに計算されている。

ガン・インジケーションには、ガン・ボア・ライン (GBL) クロスの下、エア・マス・インパクト・ライン (AMIL) もある。AMILは発射2秒後の弾丸の弾道を表している。ターゲットとの距離が近い場合は、AMILの一番上をターゲットに合わせれば、よい照準となる。

[35] ターゲット2への発砲が許可された。

[36] ガンズ、ガンズ、ガンズ！

[37] 命中！

[38] 水平飛行したら、この訓練のまとめに入ろう。

[39] オートパイロットを入れた。高度を維持する。

訓練を終わる前に、IFFCC TEST メニューを見てみよう。ここでファンネルのターゲット設定をいじることができる。

AHCPのIFFCCスイッチを1回右クリックし、IFFCCをTESTモードにセットしろ。

[40] SEL ロッカーキーで AAS (エア・エア・サブメニュー) ページにスクロールし、ENT キーを押して開け。

[41] AAS ページはガンサイトとして選択可能な、10 のプリセットされた航空機をリストアップしている。加えて、カスタム固定翼機エントリー (MAN-FXD) が 1 つ、カスタム回転翼機 (MAN-RTY) エントリーが 1 つ作成できる。

SEL ロッカーキーを使ってプロファイルをサイクルし、ENT キーを押してプロファイルを ON、OFF にできる。OFF にセットされたプロファイルは、AIR TO AIR モードのターゲット・プロファイルでサイクルすることができなくなる。

よければ、IFFCC スイッチを左クリックして ON に戻せ。

[42] これで A-10C の空対空訓練を終わる。